

★冬期休暇のお知らせ★

誠に勝手ながら

12月29日(木)～1月5日(木)
を休診とさせていただきます。1月6日(金)より
通常診療とさせていただきます。

皆様いかがお過ごしですか？

興村脳神経外科クリニック通信第47号をお届けします。バックナンバーは
当院のホームページからも閲覧できますのでご利用ください。<http://www.okimura-nouge.com/>

某国の大統領選挙の討論会を見ていて、何故か、反抗期に親に「吐」いてしまった恥ずかしい暴言の数々を思い出しました。皆様もご経験ありますか？逆に親となり子供の反抗期の暴言に手を焼いている方々も少なくはないはずですよ。当クリニックのスタッフの中にもそういう思いをしている方がいるようです。我が家でも三人の娘が全員揃って10代の時には多くの暴言が「吐」き出されていたことを思い出します。しかしながら「吐く」のは悪いことばかりでもありません。気を「吐く」といったように肯定的な意味で使われることもありますし、本音を「吐く」、弱音を「吐く」ことは憂さを晴らし、心の「浄」化作業としては必要なことなのかもしれません。

さて今月の話題は『吐』と『浄』です。

嘔『吐』は脳の病気(例えば脳腫瘍やくも膜下出血)の症状の一つとして大切であることは間違いありません。しかしながら一般的に嘔『吐』をした場合に最も多い原因は胃腸炎などの消化器系の病気だと言われています。胃腸の病気などで生じる末梢性の嘔『吐』と脳の病気などで生じる中枢性の嘔『吐』はかなり意味合いが異なります。末梢性の嘔『吐』は、不要な毒物を『吐』き出す、体の防御反応、『浄』化の一面があるのに対し、中枢性の嘔『吐』は脳のある部位が病気により刺激され生じる場合が多いからです。ですから嘔『吐』に頭痛などを伴った場合には脳腫瘍やくも膜下出血などの器質的脳疾患(画像検査で見える脳の病気の事です)の可能性を念頭におく必要があります。この診断にはMRI検査などが有用です。場合によっては手術が必要になります。一方で心理的な原因(画像検査で見えない脳の病気もあります)による中枢性嘔『吐』も存在します。この場合に重要なのは手術などの治療ではなく、憂さを晴らし、心を『浄』化させることです。中枢性嘔吐の原因と成り得る器質的脳疾患を鑑別することを一番大切な仕事としながらも、時には患者さんに本音や弱音を『吐』いていただき、心の『浄』化にもわずかながら協力させていただける、そんなクリニックをスタッフとともに目指していきたいと思っています。

◇健康診断のお知らせ◇

当院では、健康診断を実施しております。

予約制となりますので、ご希望の方は受付へお申込みください。

検査項目等詳細は、別紙
“健康診断のご案内”をご覧ください。※H28年3月1日より料金が
変わりました

◇当院からのお願い◇

◆月初めには、保険証の提示をお願いいたします。

70歳以上の高齢受給者証をお持ちの方は、保険証と一緒にご提示ください。

◆お電話にてご予約される際は、まず診察券番号とお名前をお伝えくださいますようお願いいたします。

◆お引越し等で住所・電話番号が変更になった際は、お知らせください。

今後とも、クリニックならびにクリニック通信にご指導いただければ幸いです。

興村脳神経外科クリニック